

「金曜からおとまり☆さんべたんけん in ふゆ」

1 趣 旨

- ・家族での宿泊体験を通して、家族の絆を深めることや「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行う。
- ・たくさんのことを吸収する多感な幼児期に自然体験をすることで、自然に興味を持ってもらう。

2 事業の概要

- (1) 期 日 令和3年1月29日(金)～1月30日(土) <1泊2日>
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 協 力 島根県立三瓶自然館サヒメル
- (4) 対 象 幼児とその保護者
- (5) 参加者 23名(7家族) 申込人数10家族25名 ※募集30名
- (6) 日程・研修内容



		16:30	17:00	17:30	19:00	20:00	21:00
1日目 (金)			受 付	は じ ま り の 会	夕 食 ・ 入 浴	「家族でほっこり 絵本の読み聞かせ」 冬の世界へご案内します。 どんな絵本が出てくるかな。 (絵本専門士:鎌田 由美 氏)	就 寝

	6:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:30	15:00	15:30
2日目 (土)	起 清 朝 床 掃 食	退 所 点 検	「冬のさんべたんけん」 かんじきを履いて、 動物の足跡を探します。 なんの動物の足跡が 見つかるかな?  島根県立三瓶自然館サヒメル 学芸員:安藤 誠也	昼 食	「冬のゆきだるま園へようこそ」 オリジナル雪だるまを作ります。 家族と一緒にすてきな雪だるまをつくろう!		解 散	

3 事業の特色

(1) 事業の特色

「いわみん」に3つの宿泊プログラムを提供したところ、「申し込み開始直後に満席となり、残念だった。」という声が多数あった。そこで、より多くの方に体験活動を普及したいという思いから、試行的に幼児のいる家族を対象にした平日の宿泊イベントを企画することにした。幼児対象事業のため、特に「自然」と「絵本」に興味を持ってもらうことをねらいとした。

(2) 運営のポイント

保護者の勤務時間を考慮し、夕方からの入所時間を設定した。しかし、冬の暗い雪道の運転に不安を持つ家族がいることを想定し、昼からの入所も可能にし、早く来る家族向けに「雪灯ろう作り」と「カプラ」の活動を準備した。絵本の読み聞かせでは、国立青少年教育振興機構が育成している「絵本専門士」を講師に招き、冬をテーマにした絵本の読み聞かせと、ブックトークを行った。ポイントとしては、家族がおすすめの絵本を一冊ずつ持参し、紹介することで、帰宅後に他家族が持参した本を読みたいと思わせることをねらった。絵本専門士からは、絵本を読み聞かせることが親にも子供にもリラックス効果があること、親子で読むことで親子相互の愛着形成が育まれることに言及することで、親子が今後もより絵本への関心を持ち続けることを意識した。また、対象を幼児

に特化した事業を企画したため、オリエンテーション（施設説明）は、イラストを多く取り入れ、基本的な生活習慣（早寝早起き朝ごはん等）を意識できるよう工夫した。

また、2日目のプログラムでは、島根県立三瓶自然館サヒメルと連携したことで、より専門的な内容を踏まえた説明を行った。幼児向けに、実際の足跡と比較できる「動物の足跡カード」を開発し、幼児の興味関心を高めることをねらった。

### (3) 広報のポイント

島根県立図書館を通じて、島根県内の図書館へチラシ配布を行った。各市町村の子育て支援課を通じて、各保育園等へのチラシ配布を行った。保育園等は園への保護者の送り迎えがあるため、玄関先へ掲示できるA3ポスターを併せて配布した。

報道機関への広報は、事業の1か月前と1週間前の2回行った結果、新聞社1社から取材依頼があった。

## 4 参加者へのアンケート結果

### (1) アンケートの集計

(%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	71.4	28.6	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	85.7	14.3	0	0

### (2) 参加者の声

- ・子供たちの自立心が芽生える良い機会だった。
- ・帰宅後の子供の体力を考えると金・土イベントは良かった。
- ・金曜開催はありがたかったです。珍しい雪に触れ、我が子はとても気分が高揚し、体力を使っているため、日曜日に休息がとれることは親子共々よかったです。

## 5 成果と課題

### 《成果》

- ・試行的に行った平日宿泊イベントであったが、大半の家族から好評いただいております、需要があることが分かった。また、主催者側も他団体の動きを気にすることなく、時間や場所の調整がしやすかった。今後の事業計画の参考にしたい。
- ・島根県立三瓶自然館サヒメルの協力の下、「動物の足跡カード」を作成したことで、今後、雪用ハイキングのプログラムに活用できるものが開発できた。
- ・島根県立図書館の紹介により島根県在住の絵本専門士と初めて連携することができた。今後も読書活動の普及のために連携を強化していきたい。

### 《課題》

- ・夕方の入所にしたことで、夕方から夜にかけての時間が慌ただしかったとの意見があった。幼児は就寝時間が早いため、夜の活動をもう少しゆったりしたものにはできないか検討したい。



令和2年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 「体験の風をおこそう推進月間」事業  
三瓶の魅力を体験する「今年はさんべの応援に来てくだ祭」

1 趣 旨

- ・様々な体験活動プログラムを通して、三瓶地域の良さを知り、自然や体験活動への興味、関心をもってもらおう。
- ・家族と一緒に活動する楽しさを味わってもらおう。



2 事業の概要

- (1) 期 日 令和2年10月10日(土)・11日(日)<日帰り>  
 (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家  
 (3) 協 力 坂本農園・さんベクライマーズクラブ  
 (4) 対 象 島根県内の2人以上の家族・グループ  
 (5) 参加者 10日(土)88名 11日(日)129名 計217名  
 (6) 日程・内容

【体験活動①】「秋の自然を感じよう！」 ☆小学生以上対象

日程	9:30 10:00	～	15:00
10/10(土) 10/11(日)	受付	三瓶山登山(名号登山口～女三瓶山～室の内池～孫三瓶山～女夫松登山口) ※食堂でおにぎり弁当(2個入)415円を注文します。(キャンセル不可) ※下山後、女夫松登山口から交流の家までの送迎バスを出します。 ※荒天時は木の葉のスタンプバックをつくります。その後は、温泉、島根県立三瓶自然館サヘル・さんべ縄文の森ミュージアム見学 等をお楽しみください。	

【体験活動②】「秋の味覚を発見しよう！」 ☆幼児から参加可能

日程	9:30 10:00	～	12:00 13:30	～	15:30
10/10(土) 10/11(日)	受付	坂本農園 さつまいも掘り	昼食 交流の家	焼き芋づくり&自然観察 ※荒天時には、創作活動等内容の変更がありますが、焼き芋はつくります。	

【体験活動③】「秋はニュースポーツを満喫しよう！」 ☆幼児から参加可能

日程	9:30 10:00	～	12:00 13:30	～	15:30
10/10(土) 10/11(日)	受付	(1)ボルダリング (2)カローリング・ディスゲッター (キッズ用ボルダリングもあり)	昼食 交流の家	(1)カローリング・ディスゲッター (2)ボルダリング (キッズ用ボルダリングもあり)	

※午前・午後で活動を入れ替える。

【体験活動④】「秋はゆったりと自然を堪能しよう！」 ☆小学生以上対象

日程	9:30 10:00	～	12:00 13:30	～	15:30
10/10(土) 10/11(日)	受付	(1)オリエンテーリング 雨天時：室内オリエンテーリング (2)サイクリング 雨天時：焼き板づくり(1セット 350円)	昼食 交流の家	(1)サイクリング 雨天時：焼き板づくり(1セット 350円) (2)オリエンテーリング 雨天時：室内オリエンテーリング	

※午前・午後で活動を入れ替える。

### 3 事業の特色

#### (1) 事業の特色

例年、三瓶山周辺地域の施設と共同で開催している「さんべ祭」が中止となったため、国立三瓶青少年交流の家を会場に日帰りで実施できる体験活動を提供することにした。登山、さつま芋掘り、ボルダリング、オリエンテーリング、サイクリング等の自然の中で季節を感じたり、しっかり体を動かしたりする体験プログラムを集めた。

#### (2) 運営のポイント

魅力ある体験プログラムの提供と新型コロナウイルス感染症への対策の2つの課題を解決することが事業実施の大きなハードルとなった。様々なケースを考えて協議した結果、4つの体験活動を実施することに決定した。眼前にそびえる三瓶山への登山、坂本農園の協力による芋ほりと焼き芋、さんべクライマーズクラブの協力でロープを使うフリークライミングを含めた様々なスポーツ体験、自然の中で活動するオリエンテーリングとサイクリングを用意することができた。また、天候に配慮した準備をすることで、荒天となった事業1日目は、登山希望者へのボルダリング体験、焼き板づくりや室内オリエンテーリングを提供することができた。

### 4 参加者へのアンケート結果

#### (1) アンケートの集計 58家族回答(家族)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	50	8	0	0
プログラム	49	9	0	0
運営	50	8	0	0
職員の対応	56	2	0	0

#### (2) 参加者の声

- ・親子でとても楽しい時間を過ごすことができました。子供ものびのびと楽しんでいました。自分達だけですと子供が途中で飽きてしまうのですが、スタートから最後まで存分に楽しんだようです。
- ・ボルダリングは、ずっと興味があったのですが、初めて体験させてもらい、とても面白かったです。親子で一緒にたくさん体験でき、良い1日になりました。

### 5 成果と課題

#### 《成果》

- ・コロナ禍で様々なイベントが中止される中、参加者は、イベントを楽しみに参加し、充実した一日を過ごすことができた。芋ほりと焼き芋づくりは、そのまま秋を感じることができた。フリークライミングは、初めての試みであったが、大人も子供も積極的にチャレンジしていた。雨の降る時間もあつたものの、活動内容を組み替え実施することで満足してもらうことができた。

#### 《課題》

- ・感染症予防で参加人数を制御し、参加者の取りまとめや雨天時のプログラム変更の調整を行うことに負担がかかった。様々な条件の中で、受け入れができたことを、今後に活かしていきたい。

